

【研究課題名】

ヒトのアテローム性動脈硬化の発症機構に関する組織学的ならびに免疫組織化学検討

【はじめに】

「人は血管とともに老いる」との言葉もあるように、人間の血管は歳を重ねるにつれ弾力性を失い、さらにアテローム性動脈硬化(いわゆる動脈硬化)を起こしてきます。この動脈硬化は、わが国では、悪性疾患とほぼ同等の死因の割合を占める心血管疾患(心筋梗塞や脳卒中など)の重要な基礎病態です。本研究では、早期アテローム性動脈硬化症例を対象として、その発症に至る要因とその仕組みの研究を行います。

【対象】

当研究は、九州大学病院にて、平成18年1月1日から平成23年12月31日にかけて病理解剖が行われた方のうち、15歳以上、55歳未満の方 40 症例を対象としています。対象に該当する方の御遺族の方で、当研究に参加を希望されない場合は、お手数ですが、下記連絡先にご連絡をお願いいたします。

【研究内容】

病理解剖により切除された検体標本を使って、血管壁の脂質沈着や細胞の状況を、組織学的ならびに免疫組織化学的に比較検討します。加えて、血管の細胞が傷害を受ける要因についてあわせて調べることで、アテローム硬化の発症に至る過程との関連を評価・解析します。

【研究予定期間】

研究を行う期間は、承認日より平成25年12月31日まで。

【医学上の貢献】

本研究により、対象となる方および遺族の方が直接受ける利益はありませんが、研究成果はアテローム性動脈硬化の発症機序の解明および生活習慣病予防の一助となり、国民の健康に貢献できる可能性が高いと考えます。

【個人情報の管理】

本研究では個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、個人を特定できる情報は一切含まれません。

【研究機関・組織】

九州大学大学院医学研究院 病理病態学分野

研究責任者 講師 中川 和憲

研究分担者 非常勤講師 中島 豊

【連絡先】

〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

九州大学大学院医学研究院 病理病態学分野

講師 中川 和憲

電話:092-642-6065 FAX:092-642-5965